

市有財産の活用へ「対話」により民間アイデア募集する サウンディング型市場調査を実施

- 市では、公共的な利活用の見込みがなく遊休化している市有財産について、新たな公共的施設としての利活用にこだわらず、民間等への売却や貸付を検討。
- このたび、公募型プロポーザルの実施による市有財産の利活用を前提に、民間事業者等との「対話」を通して市場性等を把握するため、活用方法や事業手法などについて、実現可能なアイデアを広く募集する「サウンディング型市場調査」を実施。
- 平成32年4月に新施設への機能移転が予定されている現在の市民体育館、袋井消防署など、6施設が対象。

1 期待される効果

- (1) 民間事業者等との対話をすることで、その意向を把握し、実態に即した利活用方法について幅広い検討が可能となる。
- (2) 公募型プロポーザルを実施する際に、事業者として地域の状況や行政課題、市の意図する内容を把握した事業提案ができ、また、そのアイデアやノウハウを反映した条件等を設定することで、民間事業者等の参加促進が図られる。

2 調査対象

- (1) 袋井市民体育館（袋井市泉町二丁目7）【土地・建物】
- (2) 袋井消防本部（署）関連施設（袋井市川井 996-2 外）【土地・建物】
- (3) 禰宜弥市有地（袋井市愛野東一丁目 1-1 外）【土地】
- (4) 小川町旧浄化センター（袋井市小川町 21）【土地・建物】
- (5) 南町旧下水処理場跡地（袋井市高尾 1559-52 外）【土地】
- (6) 旧袋井市民病院看護師宿舎（袋井市久能 2515-1 の一部）【土地・建物】

3 調査の内容

調査対象を利活用した実現性があり、持続可能な事業のアイデアを募集。
なお、アイデアには、次のような要素が含まれていることが望ましい。

- (1) 地域の活性化に貢献するもの
- (2) 子育て・介護・医療・教育・文化に関連したもの
- (3) 様々な世代の交流など地域（内・間）交流の促進が図られるもの
- (4) その他（例：商業振興、工業振興、農林水産振興等が図られるもの）

4 調査参加対象者

調査対象施設の利活用を主体的に図ることができ、単なる意見や要望ではなく具体的で実現性のある事業を提案していただける法人又は法人のグループ並びに個人又は個人のグループ。法人の規模や営利、非営利を問わない。

5 スケジュール（予定）

- (1) 調査実施要領公表 平成 30 年 7 月 2 日（月）
市ホームページ (<http://www.city.fukuroi.shizuoka.jp/>) からダウンロード
- (2) 事前説明会申込受付 平成 30 年 7 月 17 日（火）～7 月 31 日（火）
- (3) 事前説明会 平成 30 年 8 月 10 日（金）
- (4) 調査参加申込受付 平成 30 年 8 月 10 日（金）～8 月 31 日（金）
- (5) 調査実施 平成 30 年 9 月 13 日（木）～9 月 21 日（金）
- (6) 調査結果概要公表 平成 30 年 10 月中旬

6 調査後の流れ

調査の結果により、民間による事業化の可能性を判断し、公募型プロポーザル方式による事業者選定の実施に向けた準備を進める。

7 問い合わせ

財政課契約管財係

電 話 0 5 3 8 - 4 4 - 3 1 0 2

E-Mail zaisei@city.fukuroi.shizuoka.jp